

## 平成29年度日野わかば保育園

### 保育所事業と一時預かり事業と地域子育て支援拠点事業の事業報告書

#### 認可保育所事業

日野わかば保育園の教育・保育内容は小学校就学に必要な教育と共に、0歳児からのじゃが芋掘りさつま芋掘りの実体験を基本にした食育と離乳食から始める適正な栄養と美味しい給食、マーチングとリトミックで音楽が楽しくなる保育、会話と文字の言葉を活用する保育、自然環境を活かした運動等の保育内容で実体験の教育・保育を行いました。

低年齢児は待機児解消の為に弾力化して増員して受入れました。又、0歳児は順次生まれるので順次受け入れられるように秋に数名の入園枠を設定してまいりましたが、育児休業が普及し1歳児の入園が増加すると共に、母親の仕事の継続も高まり0歳児からの入園希望が4月に集中する様になっていることを受け平成29年度は途中入園を無くし4月から16名全員を受け入れる様になりました。但し、低年齢児の待機児に対して、3歳と4歳児は空きがありました。

本園：0歳児10名、1歳児22名、2歳児23名、3歳児24名、  
4歳児23名、5歳児31名、計134名

分園：0歳児6名、1歳児6名、2歳児6名、3歳児6名、計24名

本園と分園の合計158名 平成29年度保育延べ園児数1,877名

#### 一時預かり保育事業

高幡分園7名、子育てひろば”あかいやね”9名の受入れ枠で月曜日から金曜日まで実施しました。職員の努力により、良い一時保育としての評価が保護者から受けられ、良い一時保育になっています。

一時預かり保育事業は母親の休養等広く子育ての応援として位置づけられ幅広く乳幼児の保育を行っており、後半は勤務理由が増加しました。

どの企業も、産休と育休は年度の途中から始まりますので、企業は年度の後半の復職を望むことは当然であり、年度後半の勤務理由の一時保育需要に対応できる方法の検討をしましたが、実現できませんでした。

現在、一時保育は市外の方の保育は出来るのですが、本市在住の方だけに施設補助に止まっており、本市勤務の他市在住者にも施設補助が活用出来る様にお願いましたが実現には至りませんでした。

尚、日野市次世代育成型子育てひろば程久保“あかいやね”の受託を平成29年度3月末日を以て受託を終了した事により、当ひろばの一時保育は高幡分園に統合致しました。

平成29年度延べ保育乳幼児数 高幡分園822名、子育てひろば1,048名

#### 保育所型子育てひろば事業

日野市次世代育成型子育てひろば程久保“あかいやね”は、元公立幼稚園の

園舎と敷地を再活用し、乳幼児が安全に安心して過ごせる環境です。定員や受け入れ枠は無いので希望者は全員来園出来、当園度も 400 名を超える登録がありました。

開園は祝祭日と年末年始の 6 日を除く月曜日から土曜日の 10 時から 3 時まで、電話と来園育児相談は 9 時から 4 時行いました。

「ほっと出来る場所でほっとした時間を過ごす子育てひろば」で、花と食育の畑、外遊具と室内遊具や玩具、お集まりでストレッチ、紙芝居、おやつ作り、手芸、生花等、その時も楽しく家庭生活も豊かにすることを行い、延べ 6,538 名が来場しました。

ボランティアさんが、食育、お集まりでストレッチ、網芝居、遊具作り等行って下さり、永年の奉仕に東京都社会福祉協議会から感謝状を頂き表彰されました。

アドバイザー等のメンバーによる毎日相談と看護師相談日には看護師も行い、延べ 113 名が相談し、内容も専門職が答えるに相応しいものが増加しました。

また、「言葉のいずみ教室」と学習障害予防の就学前検査と指導の事業を日野市の幼稚園・こども園・保育園の園児に当広場で行ないました。

日野市で初めての次世代育成型子育てひろばを当法人は受託し運営して参り、日野市の子育てひろばに貢献してまいりましたが、諸般の事由により受託を終了することにしました。また、子育てひろばで得た育児支援の相談を始めとする支援の在り方は保育園事業に反映する予定です。

以上